

2016

11月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第147号①【基準日 2016年10月31日】



社長メッセージ

確定拠出年金と資産運用について

ありがとう投信株式会社

代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつも大変お世話になっております。先月のマーケットは、11月の米国大統領選挙や利上げなどのイベントリスクを警戒しつつ推移し、特に日本においては円安が進んだことや、日銀によるETF買い入れの株価下支えもあり、日経平均株価が17,000円台を回復するなど堅調に推移した1か月でした。

さて、ご存じのように来年1月から確定拠出年金(以下、DC)が改正されて、原則誰でも加入することができるようになります。DCには、企業が従業員のために制度として用意する企業型DC、国民年金基金連合会が実施する個人型DCの2つの種類に大きくわけることができます。

今回の法改正で、加入者の範囲が拡大されるのは個人型DCで、今まで加入資格がなかった専業主婦や公務員の方も加入できるようになります。個人型DCは愛称がiDeCo(イデコ)に先日決まり、今後の普及に注目が集まっています。

実際に、今まであまり積極的でなかった運営管理機関もイデコの加入者獲得に力を入れており、新規参入する金融機関が出てきたり、手数料を引き下げたり、残高に応じてや期限付きで手数料を無料にしたりするなど、NISAの時と同様に顧客囲い込み競争が熱を帯びている状況です。



また、書店のマネー本コーナーに行くと、著名なFPや社労士の方などの確定拠出年金に関する書籍が雨後の筈のごとくたくさん並べられています。なぜそんなに注目されているのかと言えば、理由の一つはNISAと比較して格段に高い税制優遇措置にあります。掛金が全額所得控除、運用時は非課税、受取時も退職所得控除や公的年金等控除があり税金が軽減されます。老後の資産形成を考えれば、期間制限のあるNISAよりも長期投資に適しているのは明らかです。

このように最近注目されているDCですが、もともとは米国の401kプランがベースとなっており、退職給付会計の導入にともない、年金積立金不足が大企業で問題となる中、その受け皿として今から15年前の2001年に導入された経緯があります。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

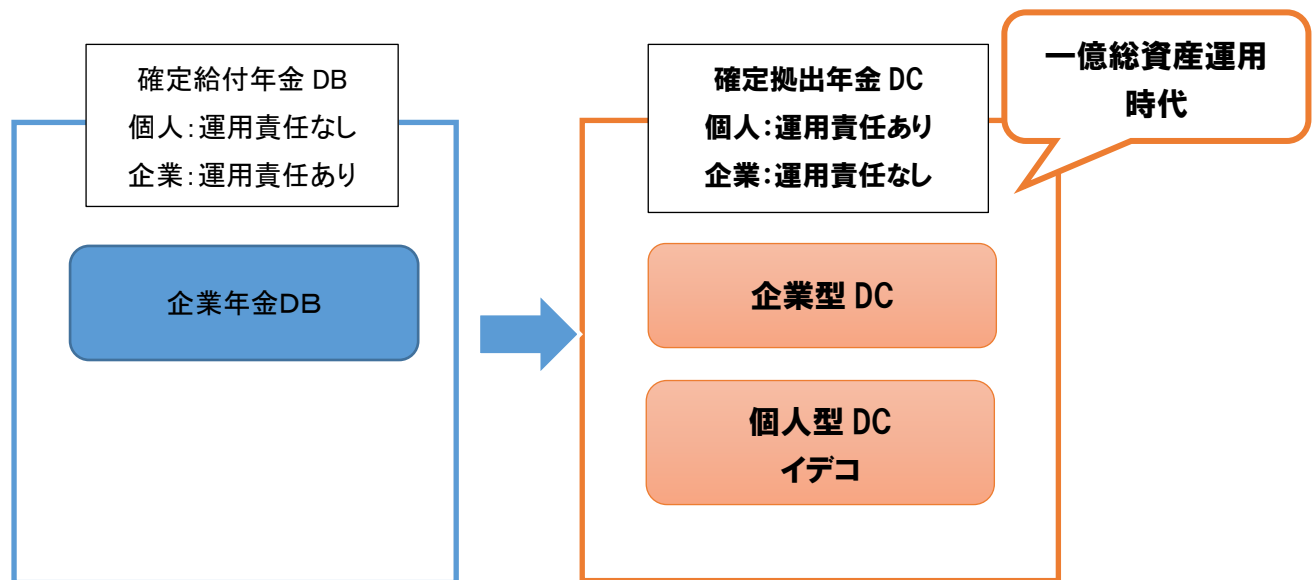
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

従来の企業年金は、確定給付(DB)で従業員に利回りを保証していましたので、運用がうまくいかなかった場合、企業が差額を補てんしなければなりませんので、企業が運用リスクを背負っていました。高い予定利回りを設定している企業年金では、バブル崩壊以降、運用利回りが悪化して企業の年金債務が増加し、さらなる業績の悪化へとつながっていき、最終的には年金減額、経営破たんに至る場合も少なくありませんでした。

米国のGM(ゼネラルモーターズ)、日本のJAL(日本航空)もOBへの手厚い年金が重荷となり、競合他社との競争に後れをとることになり、最終的に経営破たんする結果となったのは記憶に新しいところです。

DCでは、企業は掛金を拠出して損金処理するのみで、従業員の将来の運用成果に責任を負うことはありません。自己責任で運用してもらうので、将来の年金額が大きく増えるか、そうでないか、個々の従業員の運用の巧拙によって変わってくることになります。一方、個人型DCのイデコは将来に向けて自分の意思で加入して掛け金を拠出して運用していくものですので、運用成果についても当然のことながら自己責任になります。

DCという制度は、投資や資産運用に興味があるなし関わらず、強制的に運用して資産形成していかなければならない制度であるともいえるでしょう。ある意味、一億総資産運用時代に入ったといえるのではないかと考えられます。



今後、DCが順調に普及していくことになった場合に一番大切になってくるのは、どのように資産運用、資産形成していくかであります。そして、資産運用していく運用商品に何を選ぶべきかという観点が大きくクローズアップされてくることは想像に難くありません。

現在のDCの運用商品ラインナップは、元本確保型の商品として定期預金、年金保険商品を除けば、メインはファンドになっております。一般的にはアセットクラス(株、債券)毎に国内・海外と選択可能であったり、バランス型やターゲットイヤー型のファンドなどが選択できるようになっております。

低コストのインデックスファンドや実績のあるアクティブファンドをラインナップに揃えようとする動きがある一方で、運営管理機関の系列の金融機関・運用会社が提供している商品やファンドしか選択できない場合もあり、運営管理機関やプランによってかなりの差があるのが現状です。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドは、ファンド・オブ・ファンズの形態で長期投資・国際分散投資・厳選投資をしており、独立系投信会社としての強みを生かして、系列やグループに縛られることなく、それぞれの国や地域で実績のある最適な投資先パートナーのファンドを選択することができるのが強みとなっておりますが、DCの運用はファンド・オブ・ファンズの運用に似ているところがあります。

資産配分割合を決めて、投資するファンドを決めてポートフォリオを構築していき、運用結果をみて必要に応じて資産配分の見直しを行っていかねばなりません。

しかしながら、すべての人にそのようなことが果たしてできるでしょうか。正直言って難しいというのが現状ではないかと思います。

実際、米国においては401kプラン(≒日本の企業型DC)、IRA(個人退職口座)で選択されている商品としてはターゲットイヤー型ファンドやバランス型ファンドなどのお任せ型のファンドが多く、単一地域・単一資産クラスファンド(例えば、日本株ファンド、米国リート、米国ハイイールド債券ファンドなど)の割合は少なくなっています。

今後、日本において投資教育や継続的なフォローアップのための研修や勉強会が大切になってくることはもちろんですが、日本でも自分でいくつかのファンドを組み合わせるよりも、お任せ型のファンドに投資するニーズが今までよりも高まってくるのではないかと思います。

また、米国における2015年末時点の投信残高は約1,700兆円(日本の家計金融資産と同じ規模)ありますが、その45%が401kやIRAなどの税制優遇された制度からの残高になっています。

日本においても、企業型DCやイデコの普及に伴って、将来的には一般の投信販売ルート経由とDC経由でのファンド残高が半々になることも十分に考えられるでしょう。

現在、日本の公募投信の残高は9月末時点で約96兆円程度ですが、残高が多い売れ筋の投信は単一地域・単一アセットの商品が多くて、商品性からも資産分散の観点からも長期の資産形成にすすめることができるような商品ではないのが現状です。しかしながら、今後DCが普及してくる中では、このような状況が大きく変わってくる可能性は十分にあるのではないかと思います。日本における資産運用および投信業界がDCの普及とともに本来のあるべき姿に大きく変わっていく可能性を感じるとともに、弊社としてもその変化に対応していくべく対応を進めていかねばいけないと強く感じております。

私たちを取り巻く環境は厳しさを増してきております。老後の生活を国や企業に頼ってばかりではいられません。自助努力で資産形成していかなければならない時代が本格的に訪れようとしています。

そのような中で、これからも私たちは創業の想いのとおり皆さまの資産形成・資産運用をお手伝いさせて頂き、将来不安を少しでも解消できればと考えております。



今後ともありがとう投信を何卒よろしくお願い申し上げます。

39 コンシェル

～このコーナーではお客様の声や Q&A、大切なお取引に関するお知らせ、サービスのご紹介やセミナーのご案内などを掲載致します～

【コツコツ分散のススメ】

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する※「定期積立サービス」がおすすめです♪

※「定期積立サービス」とは・・・毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。

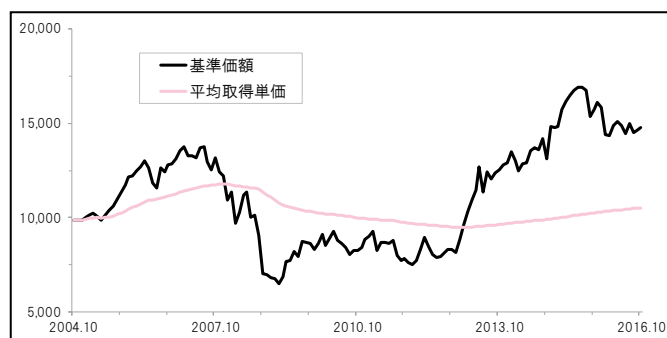
①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンのチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、12年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。直近1年では、マイナスとなりますが、3年でプラスになっていることがわかるかと思います。

期間	平均取得単価	損益
1年	14,887円	-0.18%
3年	14,569円	2.00%
5年	11,855円	25.34%
初回(2004年10月)から	10,523円	41.21%

2016年10月31日現在(基準価額:14,860円)

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

投資先パートナーであるキャピタルでも投資の心得として“Time, not timing, is what matters”と掲げており時間分散による長期投資の効果の重要性を語っています。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

大事なお知らせ

◎マイナンバーご提示のお願い

法定帳票の作成事務等、税に関する手続きのため、すべてのお客様から弊社へマイナンバーの通知が必要となります。すでに弊社に口座をお持ちのお客様につきましては、弊社より送付する専用書類でマイナンバーを通知していただく予定です。

弊社から専用書類が届くまでは、番号カード等の送付はご遠慮下さいますようお願い致します。



尚、特定口座の開設及び住所・氏名変更の場合につきましては、お手続きの際に必ずマイナンバーの通知が必要となりますのでご注意ください。

◎改正犯罪収益移転防止法の施行に伴う外国 PEPs への該当のご確認

この度、2016 年 10 月 1 日より犯罪収益移転防止法の改正に伴い、外国 PEPs に該当する場合の取引について、厳格な顧客管理を行う必要性が特に高いと認められる取引として位置付けられたため、お取引にあたってお客様が外国 PEPs に該当するかどうかの確認が必要となりました。

つきましては、お手数ですが、お客様で該当される方は、追加での書類のご提出をしていただく必要がございますので、弊社カスタマーサービス部(フリーコール 0800-888-3900)までご連絡ください。

<マイページ機能WEBシステム導入決定！>



ホームページ上でのお客さまご自身の保有残高や評価金額、取引履歴の確認、取引報告書、取引残高報告書などを電子交付することができる『マイページ機能 WEB システム』を今年度中に導入することに決定いたしました。

これにより、今まではお電話で都度お問合せいただいておりますが、スマホや PC で 24 時間 365 日、時間や場所を選ばずに保有残高や評価金額を確認できるようになります。

今後の詳細スケジュール等につきましては、順次月次レポートやホームページでお知らせいたしますのでご期待ください。

フェイスブックでありがとう投信への応援をお願いします！

開催したセミナーの様子や弊社からのご案内がご覧いただけます。

ぜひ  を押して応援をお願いします！



「ありがとう投信株式会社」

<https://www.facebook.com/39asset>

セミナーのお知らせ

参加人数に限りがございます。お申し込みは弊社 HP まで♪ (<http://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ビジネスで使える！ 弁護士が実践する「交渉力」	11月15日 (火)	東京	19:00～ 20:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (はるか法律事務所)
【平日】よくわかる投信の確定拠出年金の活用法 ～DCのメリット・デメリット～	11月17日 (木)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
よくわかる投信の選び方・見直し方 ～こんなファンドは買ってはいけない！～	11月19日 (土)	東京	10:00～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとう資産運用個別相談会(事前予約制)	11月22日 (火)	東京	18:30～	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【法律セミナー】知らないと怖い！医療ミス・医療 過誤にかかわるトラブル事例と対策	11月26日 (土)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (はるか法律事務所)
【平日】ありがとうファンドの魅力とは ～長期投資と国際分散投資で資産形成～	11月30日 (水)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
新投資先ファンド紹介説明会	12月3日 (土)	東京	10:00～ 12:00	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
【よくわかる保険の選択セミナー】今の保険で大 丈夫？保険の見直しポイント教えます。	12月10日 (土)	東京	10:00～ 11:30	長谷川 達哉 氏 (株式会社ルーサス)
【平日】よくわかる投信の年代別活用法 ～ジュニア世代・現役世代・シニア世代～	12月14日 (水)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
新投資先ファンド紹介説明会	12月17日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
新投資先ファンド紹介説明会	12月18日 (日)	名古屋	9:30～ 11:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
ありがとう資産運用個別相談会(事前予約制)	12月21日 (水)	東京	18:30～	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとうファンドの魅力とは ～長期投資と国際分散投資で資産形成～	12月28日 (水)	東京	19:00～ 20:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
新投資先ファンド紹介説明会	1月14日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
新投資先ファンド紹介説明会	1月21日 (土)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
新投資先ファンド紹介説明会	2月11日 (土)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
新投資先ファンド紹介説明会	2月12日 (日)	長崎	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

平成28年度 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落日金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
11月分	受付終了	受付終了	11月7日(月)	11月17日(木)
12月分	受付終了	11月24日(木)	12月6日(火)	12月16日(金)
1月分	12月5日(月)	12月22日(木)	1月6日(金)	1月19日(木)
2月分	1月5日(木)	1月25日(水)	2月6日(月)	2月16日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

12月	26日(月)	クリスマス	ニューヨーク証券取引所休業日
		ボクシング・デー	ルクセンブルグの銀行休業日
1月	16日(月)	キング牧師誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
2月	20日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様の負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.7%±0.25%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上 3-19-4 TEL 03-5807-9710】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。



《39コンシェルジュサービス》 事例で学ぶ『身近に潜む法律問題！』



第12回 知らないと怖い！ 医療ミス・医療過誤にかかわるトラブル事例と対策 ～インプラント・レーシック・腹腔鏡手術ミスなど～

「事例で学ぶ相続問題！シリーズ」に続きまして、「身近に潜む法律問題」を学んでいく新セミナーシリーズを開催することになりました。講師にはお馴染みのはるか法律事務所の弁護士宇田川高史先生をお招きして事例を交えながら、様々な法律問題について基礎から皆様と一緒に学んでいく予定です。参加者には法律相談を初回無料で受けられる特典もございます。お席に限りがあるのでお申込みはお早めに！皆様のご参加を心よりお待ちしております。

法律問題は私達が日々生活していく上で誰もが無視することができない問題です。家族の問題、隣人との関係、マイホームに関すること、交通事故などのアクシデント、ネットショッピングでのトラブルや違法コピー違法ダウンロード問題、SNS 上での炎上や名誉棄損、金銭の貸し借り、職場でのトラブルなど、私達の身の回りには様々な問題が存在しています。ますます複雑化している現代社会において、法律を知っているか知らないかで人生が変わってしまうことがあると言っても決して過言ではありません。これからは私達一般市民もリーガルマインドを身につける必要性が今までよりも高まってきていると言えるでしょう。

今回のセミナーでは、身近に潜んでいる法律問題について事例をもとに皆様と学んでいく予定です。セミナーに参加頂くことで、これからの人生の“転ばぬ先の杖”として、様々なトラブルやアクシデントを予防したり、事前に回避できたり、仮にトラブルに巻き込まれたとしても冷静な対応をしていける知識を身につけて頂ければと思っております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【第12回 セミナー開催概要】

テーマ	知らないと怖い！医療ミス・医療過誤にかかわるトラブル事例と対策～インプラント・レーシック・腹腔鏡手術ミスなど～	 講師 はるか法律事務所 宇田川 高史 弁護士
日時	2016年11月26日(土) 10:00～11:30	
定員	10名 お申込みは弊社の口座をお持ちのお客様限定 (ご家族ご友人の方も参加可能)	
会場	ありがとう投信株式会社 本社 6F セミナールーム	
備考	ご参加のお申込みは前日までにお願い致します。 終了後に懇親会(ランチしながら講師と歓談)を開催予定です。 (希望者のみ別途申込要、実費負担)	

【講師プロフィール】 はるか法律事務所 弁護士 宇田川 高史
出身地：東京都北区 出身校：慶應義塾大学 司法修習：60期 趣味：ゴルフ・スポーツ観戦・映画鑑賞



<主催・お申込み・お問い合わせ> 完全事前申込制

ありがとう投信 カスタマーサービス部
電話 フリーコール 0800-888-3900
(平日 8:30～17:30、土日祝年末年始を除く)
お申込みはホームページ「セミナー情報」又は
お電話にてお申し込み下さい。



《39コンシェルジュサービス》

【よくわかる保険の選択】

今の保険で大丈夫？保険の見直しポイント教えます。



保険無料相談サイト『保険の選択』を運営している株式会社ルーサス代表取締役社長である長谷川達哉氏を講師にお招きして、「よくわかる保険の選択」シリーズを開催いたします。このシリーズセミナーでは正しい保険の入り方や見直しポイントについて皆さんと学んでいく予定です。保険の見直しをご希望のお客様には無料で優秀なプランナーをご紹介します。お席に限りがあるのでお申込みはお早めに！皆様のご参加を心よりお待ちしております。

保険大国と言われる日本。国民の保険加入率、加入金額は他の欧米先進国と比べて相対的に高いと言われています。しかしながら、必要性のない保険に加入して高い保険料を払っていたり、知り合いに勧められるまま保険に加入したけど、どんな保障内容か理解していなかったり、今の保険で十分であるかわからない方も少なくないと思います。

また、保険についてどこに相談したらよいかわからないという方も多いのではないのでしょうか？

今回は、無料保険相談サイトを運営されている株式会社ルーサスの代表取締役社長である長谷川達哉氏をお招きし、保険の見直しのポイントについて皆さんと一緒に学んで行きたいと思えます。今回のセミナーを通じて皆さまが現在加入されている保険内容を確認し、必要な保障であるかどうか、見直した方がよいかどうかを判断できるようになっていただければ幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。



【無料セミナー開催概要】

テーマ	【よくわかる保険の選択】 今の保険で大丈夫？保険の見直しポイント教えます	 講師 株式会社ルーサス 代表取締役社長 長谷川 達哉
日時	2016年12月10日(土) 10:00~11:30	
定員	10名	
会場	ありがとう投信株式会社 本社 東京都台東区上野3-19-4サカイビル	
備考	ご参加のお申込みは前日までにお願い致します。 保険の見直しをご希望のお客さまには無料で優秀なプランナーをご紹介します。	

【講師プロフィール】 株式会社ルーサス 代表取締役社長 長谷川 達哉

＜略歴＞2005年 アクセンチュア株式会社戦略グループ入社。新規事業立ち上げや、M&A戦略・全社戦略・マーケティング戦略の立案・実行プロジェクトを、いずれも日本を代表するクライアントに対し実施。2010年 株式会社ルーサスを設立。代表取締役社長に就任し、無料保険相談サイト「保険の選択」など運営する若手起業家。

☆『保険の選択』(<https://hoken-choice.jp/>)

家計・保険の無料見直しで月々の出費を節約！プロによる無料診断「保険の選択」

1. 広告で成り立っているため、お客さまは完全無料
2. 知識・経験が豊富なFPが在籍しているので常にお客様に最適な提案ができます
3. FPの「お客様満足度ラインキング制」により、お客様のことを第一に考えるFPしか在籍し続けることができません



＜主催・お申込み・お問い合わせ＞ 完全事前申込制

ありがとう投信 カスタマーサービス部

電話 フリーコール 0800-888-3900

(平日 8:30~17:30、土日祝年末年始を除く)

お申込みはホームページ「セミナー情報」又は
お電話にてお申し込み下さい。

